

桜町高齢者在宅サービスセンター・本町高齢者在宅サービスセンター合同
地域密着型運営推進会議 報告書

開催日時	2025年10月7日 14:30~15:30
開催場所	桜町高齢者在宅サービスセンター 2F 地域支援部屋
参加者	ご利用者家族 : 桜町センターご利用者ご家族 A様 桜町・本町センターご利用者ご家族 B様 地域住民代表 : 行政書士 C様 所在地管轄職員 : 小金井きた地域包括支援センター職員 D様 小金井きた地域包括支援センター職員 E様 センター職員 : 桜町・本町センター長 在宅サービス部 課長 桜町デイサービス相談員 (以下 桜町相談員) 本町デイサービス相談員 (以下 本町相談員) 桜町センター事務職員
司会進行	在宅サービス部 課長
書記	桜町センター事務職員

【議事録】

1. 出席者の自己紹介

2. 認知症対応型デイサービスの状況報告

・桜町高齢者在宅サービスセンター (桜町相談員) ※添付資料

目標利用率 70% だが、9月の利用率は 48.9% と 50% を切る状態である。

4月以降新規利用がなく、一般から認知デイへの移行もうまく行っていない。

他に色々な業者が増えている中、食事や入浴などの強みを押し出して、選んでもらえるデイになるように引き続き営業、新規獲得につとめていく。

利用者の平均介護度 2.89 と比較的軽く、付き添いや個別対応が必要な利用者が多い。主な活動は入浴と体操で、他のレク活動は好きな方だけ参加してもらっている。

・本町高齢者在宅サービスセンター (本町相談員) ※添付資料

登録人数は 21 名、平均介護度 4.28 で要介護 5 の利用者が多く、利用率は 50% をきる状態である。利用者の平均介護度が高いため、施設入所、長期入院、長期ショートステイを利用される方が多い。また体力的に難しくなり、訪問系サービスに移行される方もいる。入浴の関係で桜町センターから本町センターへ紹介してもらうなど同じ法人内で連携をとれるようになり、情報共有もできて助かっている。引き続き継続していく。土曜日の音楽セラピーのほかに水曜日も音楽レクに取り組み、脳の活性化、認知症進行予防につながっている。納涼祭や敬老会の季節行事も大切にし、近隣の散歩も行っている。

3. 聖ヨハネ会高齢福祉部門の状況報告 (センター長)

取り組むべき課題は三つ、①利用率を含む財務の向上、②人材の定着、③サービスの充実。

利用率に関して、特に認知デイは厳しい現状である。ヨハネ会のアピールポイントを出していかないと淘汰される。近年は介護職を定着させることに非常に苦労している。求人を出しても応募すらなく、人材紹介、派遣、日雇いバイトも活用している。採用した職員にいかに定着してもらうか、賃金、休日など努力ポイントはあるが、制度上限界もある。弱い立場の人に寄り添うという法人の理念を念頭に、認知デイだけでなく他のサービスも含めてサービス向上に取り組んでいく。

4. 意見交換（質疑応答）

課長・・・小金井市内に認知デイは4か所しかない。選ばれるためには、人材を確保し安定した良いサービスを継続していく事と、利用率の向上も大切である。

B様・・・父は月・火・水・金曜日に本町センター、土曜日は桜町センターを利用している。本日参加して利用率が低いことを初めて知った。どこもいっぱいなのだと思っていた。

桜町相談員・・・一般より認知デイのほうは単位数が高く、点数を限度内に収めるためには、認知デイを選ぶかどうかはケアマネによるところもある。

課長・・・認知デイと一般デイの線引きは明確ではない。認知デイでは対応に個別性が高く静かでゆったりできるが、にぎやかな一般デイを選ぶこともある。認知のある方は施設入所が進んでいる傾向にあると感じる。

B様・・・料金のことは母にまかせてきたが、お金がかかることなのでデイに行きたくても通えない人もいるのではないか。96歳で週5日、体力的にも通えていることはありがたいと感じる。ショートでは夜に帰宅願望出ることもあるが、デイに行くことに拒否はない。自身も幼稚園で仕事をしている経験から、関わる人が代わらないことが大切だと思う。

桜町相談員・・・お風呂に入る、食事がおいしいなど得することを工夫していきたい。

B様・・・他のデイを行っている母はヨハネ会の方が食事は美味しいだと言っている。

A様・・・近所の人も桜町ではないどこか他のデイを行っている様子。ケアマネの紹介をもつと利用すれば利用が増えるのではないか。認知症という名前で呼んでいるがそれぞれ人によって違うように思う。デイとのやり取りについては、連絡帳があり助かっている。お風呂に入ったかどうか本人に聞いても分からぬので。

桜町相談員・・・認知症にも種類があり、名称や特性も時代と共に対応が変わってきている。ご自宅での介護は大変だと思うが、ご本人にはご本人の世界があり、上手に関わっていくことが大切だと考える。

C様・・・本人に希望を聞いてデイの見学に行くが、なかなか認知デイに行きませんか？とは言い辛いところがある。本町は介護度の重い方、桜町は軽い方とすみ分け、聖ヨハネ会のイメージをプラスにそれぞれの特徴伝えられるようになると良い。

E様・・・桜町のフロアを見学して感じた事は、とても親切な個別対応をしていると感じる。実際に見に来てもらえる機会があると良い。

D様・・・顧客満足度アンケートのようなものを実施するべきである。利用者というよりケアマネ対象にデイに何を望むか等、次につながるようなアンケートをすべき。

課長・・・顧客満足度アンケートを実施することで使いやすいデイになれば良い。

5. 次回開催予定： 2026年4月予定

